

# 長期経営ビジョン「Vision 2030」 中期経営計画「ISiD X Innovation 2024」

2022年2月9日  
株式会社電通国際情報サービス

## 前中期経営計画の振り返り

## 前中期経営計画（2019-2021年）の戦略骨子

### ISiD X(Cross) Innovation 2021

テクノロジー、業界、企業、組織、地域などを越えた「X Innovation」の推進を通して、新しい価値を「協創」し、企業理念の実現を目指していく。

基本方針		定量目標	
1.主力事業の進化	2.新規事業の創出	2021年度 中計目標	2018年度業績を 起点としたCAGR
3.事業基盤の革新		売上高	1,100億円
		営業利益	110億円
		営業利益率	10%
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人材力の強化</li> <li>● 先端技術への取組み加速</li> <li>● 事業支援部門の付加価値力向上</li> </ul>		ROE	12.5%
		投資計画（3カ年合計）	
		人材投資	+120億円
	研究開発費	100億円	
	出資・M&A投資	100億円	

## 前中期経営計画の振り返り（連結業績）

- 全セグメントの成長により、設定した4つの**定量目標をすべて達成**

	中計目標	2021年度実績	差異	CAGR (2018-2021)
売上高 (億円)	1,100	1,121	+21	+7.2%
営業利益 (億円)	110	137	+27	+18.6%
営業利益率	10%	12.3%	+2.3p	
ROE	12.5%	14.3%	+1.8p	

## 前中期経営計画の振り返り（セグメント別）

### ● ビジネスソリューション、コミュニケーションITが成長を牽引

	2021年度 売上高	CAGR (2018-2021)	振り返り
金融ソリューション	251	2.7%	● 大型案件の終了に加え、メガバンク向けが苦戦したものの、地域金融機関、リース・カード、事業法人向けが牽引し拡大
ビジネスソリューション	149	12.7%※	● POSITIVE（人事）/STRAVIS（連結会計）に加え、新たに投入したCi*X（会計）など自社製品が大きく伸張
製造ソリューション	320	3.1%	● 製造業のモノづくり変革ニーズの高まりを受け、自動車業界や電気・精密機器業界向けを中心に拡大
コミュニケーションIT	399	12.4%※	● 基幹領域が堅調に推移したことに加え、マーケティング領域における電通グループとの協業が大幅に伸張

※ ビジネスソリューション、コミュニケーションITのCAGR計算にあたっては、2021年度に実施した事業部移管の影響を考慮して簡易的に計算

## 前中期経営計画の振り返り（X Innovationおよび投資）

	評価	振り返り
X Innovation 実践面	○	● セグメントの壁を越えるX Innovation活動が確実に浸透 ～ 50億円の目標に対し、大手製造業向け中心に <b>52億円</b> の案件創出 ● 新規事業開発や、AI、UI/UX、xR等の <b>先端技術</b> を担う人材集約 ～ セグメント横断での新たな価値創出を実現
人材投資	○	● 人材投資目標+120億円※に対し、 <b>+180億円達成</b> ～ リモートワーク、定年延長など働き方改革も推進 ● 増員目標+300人超に対し、 <b>+425人達成</b> ～ 採用強化に加え、事業買収実施
研究開発投資	○	● 研究開発投資目標100億円に対し、 <b>86億円実施</b> ～ <b>18</b> の新製品/サービス投入と、 <b>15</b> の既存製品エンハンスメント実施
M&A/出資	△	● 投資枠100億円に対し、 <b>40億円実施</b> ～ 業績への貢献は今後の期待

※ 3年累計の総額人件費の増額目標

## 前中期経営計画の振り返り（総括）

企業理念刷新と同時にスタート

～ 企業ビジョン「**HUMANOLOGY for the future**」が組織に浸透 ～

スローガンとして掲げた「**X Innovation**」の活動が実を結びつつある

中計で設定した業績目標をすべてクリア

さらなる成長実現のため、

**長期経営ビジョン** と **次期中計を同時に策定**

**長期経営ビジョン「Vision 2030」**

## 環境認識

2030年に向けた環境変化

ニューノーマル社会の到来

～デジタル化が当たり前の時代へ～

企業の社会的責任の変化

～脱炭素等に向けた変革必須～

国内生産年齢人口の減少

～技術人材の獲得競争激化～

テクノロジーのさらなる進化

～真の実装力が問われていく～

- 持続可能性と成長性の両立を目指す**社会と企業の変革**がさらに加速し、テクノロジーの実装に強みを持つ企業に大きな**成長機会**の到来

## 2030年のありたき姿 ～Vision 2030

- 企業理念の体現者として、**社会、企業、生活者の期待に応える**存在
- そのために、**人とテクノロジーの多様性**を備えていく

2030年のありたき姿

“X Innovator”

多様な人材、多彩なテクノロジー、多種のソリューションを持つ、  
売上高3,000億円規模の企業グループ

システム  
インテグレータ

企業理念・ビジョン

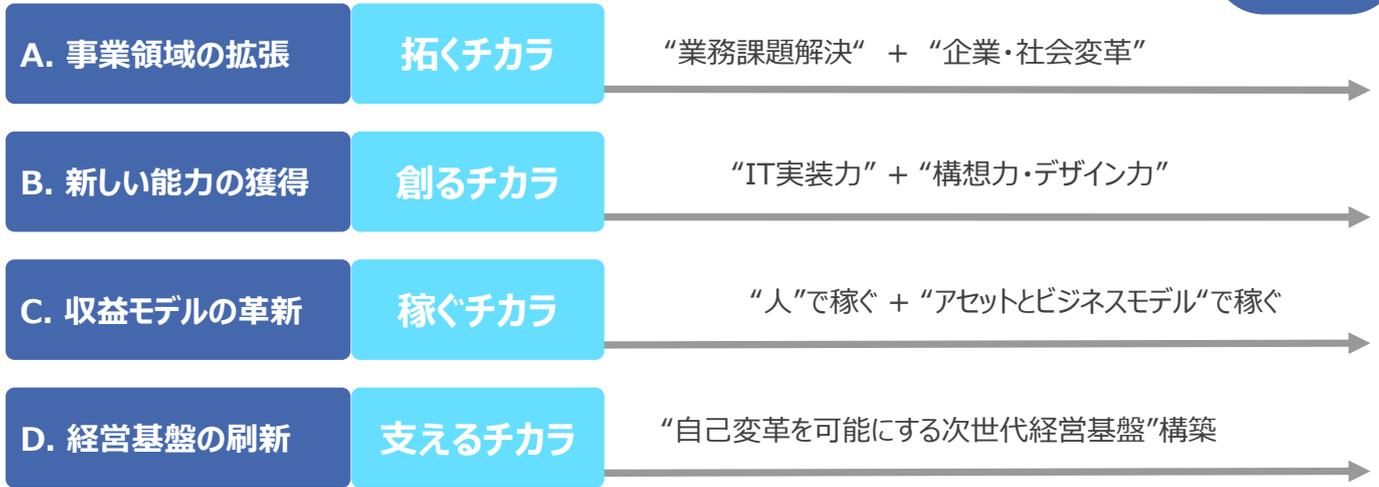
HUMANOLOGY for the future

人とテクノロジーで、その先をつくる。

# Vision 2030への自己変革

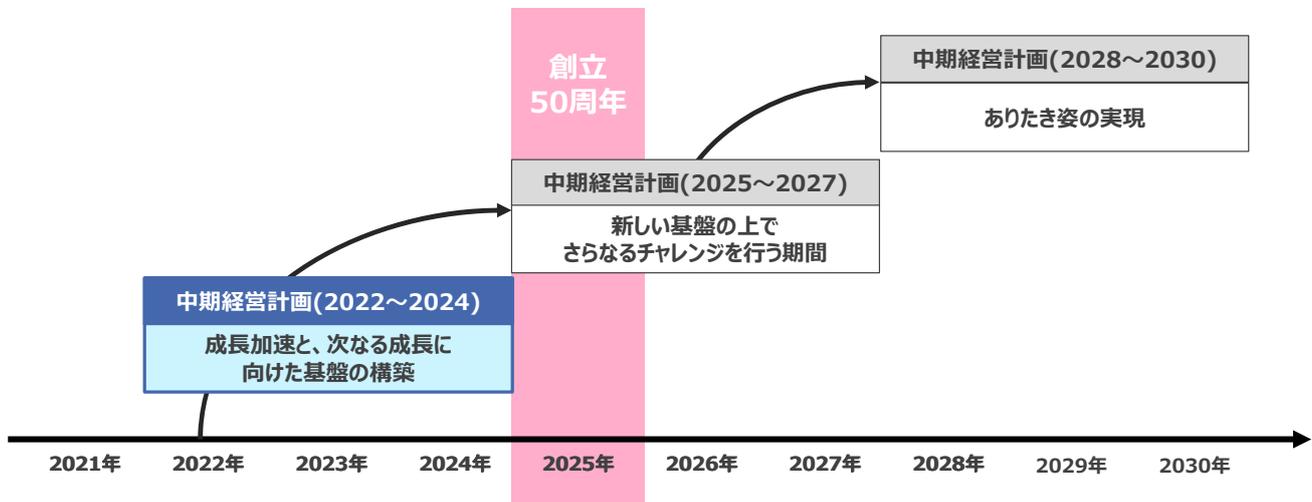
- 4つの自己変革（チカラの強化）を推進

2030年



# 2030年までのステップ

- 2022年から2030年までの9年を3カ年×3回にフェーズ分け
- 次期中計は、成長を加速させつつ、**次なる成長に向けた基盤**を構築する期間



# 中期経営計画「ISID X Innovation 2024」

## 中期経営計画（2022-2024年）の戦略骨子

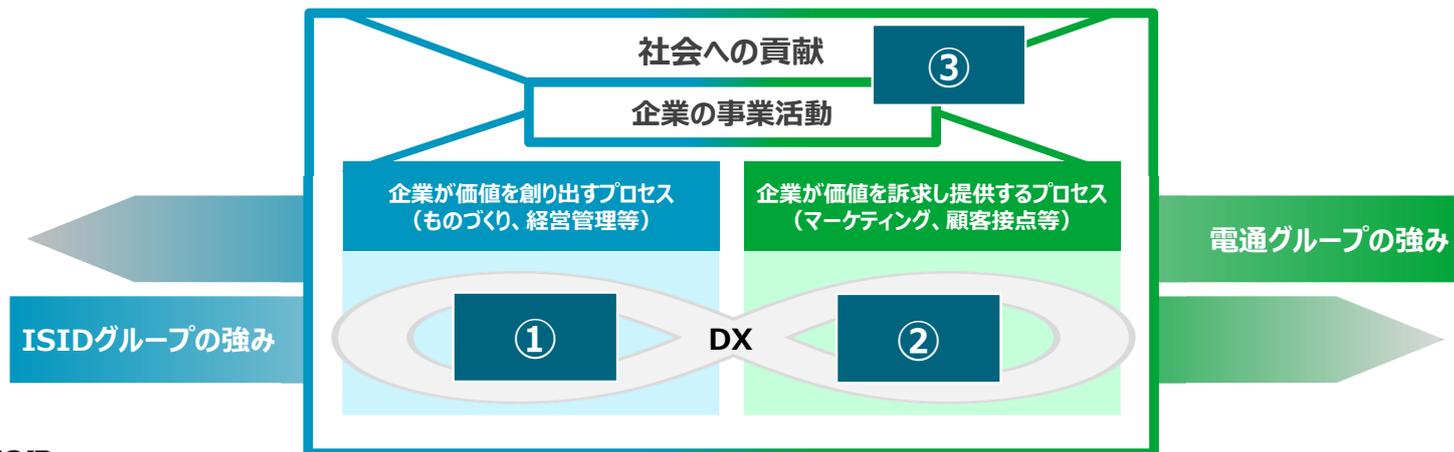
### ISID X(Cross) Innovation 2024

X Innovationの深化により成長を加速させつつ、2030年のありたき姿を見据え、ISIDグループの新しい基盤を構築していく

重点施策	定量目標
<b>A.事業領域の拡張 (拓くチカラ)</b> ① 既存コア事業の成長 ② 顧客接点領域の事業強化・確立 ③ 企業・社会変革領域の事業強化・確立	<b>2024年度 中計目標</b> 売上高 <b>1,500億円</b> 営業利益 <b>180億円</b> 営業利益率 <b>12%</b> ROE <b>15%</b> <b>CAGR 2021-2024</b> <b>10.2%</b> <b>9.5%</b>
<b>B.新しい能力の獲得 (創るチカラ)</b> ④ 人的リソース強化 ⑤ コンサルティング機能強化 ⑥ 先端テクノロジー強化	
<b>C.収益モデルの革新 (稼ぐチカラ)</b> ⑦ ソフトウェア製品・商品強化 ⑧ ビジネスモデル多様化促進	<b>成長投資</b>
<b>D.経営基盤の刷新 (支えるチカラ)</b> ⑨ サステナビリティ推進 ⑩ 経営基盤改革	人材 <b>連結人員数4,200名（2024年末）</b> テクノロジー <b>170億円（3カ年累計）</b> 出資・M&A <b>100億円以上（3カ年累計）</b>

## A.事業領域の拡張（拓くチカラ）～重点施策①②③

- ① 既存コア事業の成長 ～4セグメント・6事業部間の戦略的な人員配置と連携で継続成長を狙う
- ② 顧客接点領域の事業強化・確立 ～マーケティング関連人材を集約・強化し、全社横断で高い成長を目指す
- ③ 企業・社会変革領域の事業強化・確立 ～ISiDグループと電通グループの強みを融合し市場を開拓する



## B.新しい能力の獲得（創るチカラ）～重点施策④⑤⑥

重点施策	内容
④ 人的リソース強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 喫緊の課題である人員不足の解消に向け、採用戦略を見直し、人員数の拡大ペースを高める</li> <li>● 提携など外部調達が多様化および戦略活用を推進する</li> </ul>
⑤ コンサルティング機能強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 企業・社会変革支援の事業確立に向け、コンサルティングのキャパリティを強化する</li> <li>● 事業・サービスの構想力、デザイン力、ビジネスプロデュース力を高める</li> </ul>
⑥ 先端テクノロジー強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>● CoE機能強化～先端テクノロジー人材の採用と集約をさらに推進</li> </ul>

## C.収益モデルの革新（稼ぐチカラ）～重点施策⑦⑧

重点施策	内容
⑦ ソフトウェア製品・商品強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>● POSITIVEシェア拡大に向け製品改良強化</li> <li>● 新製品Ci*X Financialsの展開とさらなるラインアップ拡充</li> <li>● 急拡大している経営管理ソリューション、マーケティングソリューションの人材を全社横断で拡充</li> </ul>
⑧ ビジネスモデル多様化促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● サブスクリプション型、SaaS型、レベニューシェア型契約の促進</li> <li>● 自社製品（STRAVIS/POSITIVE等）のBPOサービス拡大、およびパートナー協創モデル強化</li> </ul>

## D.経営基盤の刷新（支えるチカラ）～重点施策⑨⑩

重点施策	内容
⑨ サステナビリティ推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● サステナブルな社会の実現に貢献すべく ESG経営を推進</li> </ul>
⑩ 経営基盤改革	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 変革プログラムの立ち上げ・推進</li> </ul> <p>採用・教育：優秀多様な人材集団に向け、抜本的な変革推進</p> <p>制度：人材を惹きつける処遇、働き方制度等の設計・導入</p> <p>組織：X Innovationを加速させるに相応しい組織構造の設計・構築</p> <p>経営管理：経営管理基盤やブランド等の変革</p>

## 定量目標〈連結〉

- 成長を前中計比でさらに加速させるとともに、**将来に向けた投資**を積極的に行っていく

	2021年度実績	2024年度目標	差異	CAGR
売上高 (億円)	1,120	1,500	+380	+10.2%
営業利益 (億円)	137	180	+43	+9.5%
営業利益率	12.3%	12%	▲0.3p	
ROE	14.3%	15%	+0.7p	

## 定量目標〈セグメント別〉

- 重点施策の推進を通して、**全セグメント成長**を目指す

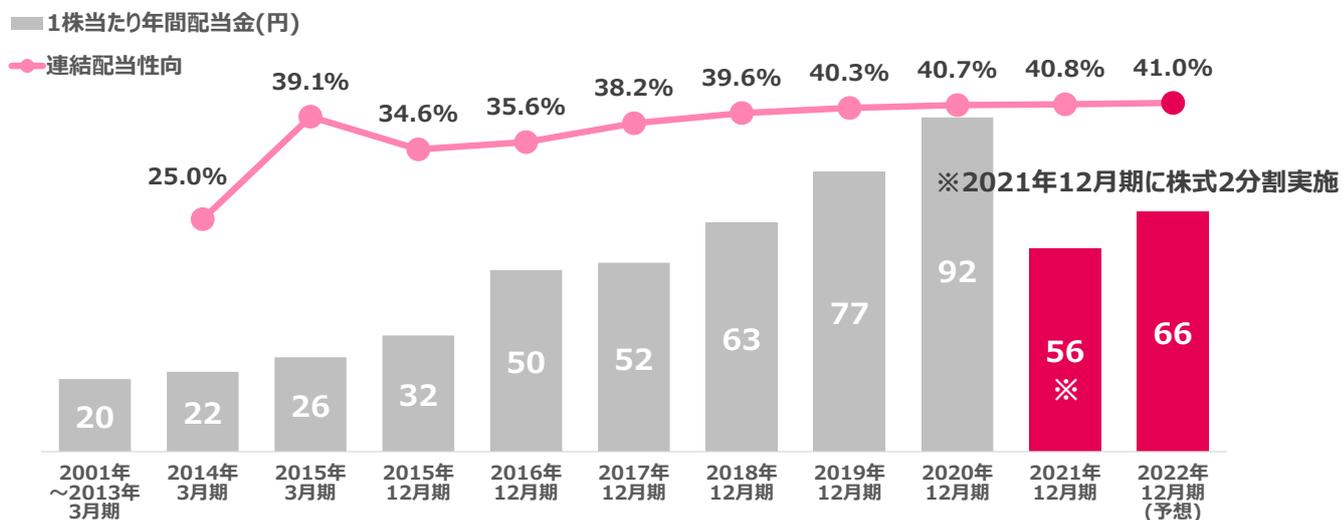
	2021年度 売上高実績	2024年度 売上高目標	CAGR	セグメント方針
金融ソリューション	251	310	7.2%	既存事業の強化・成長とビジネスモデル変革推進
ビジネスソリューション	149	220	13.7%	全社戦略ソリューションとして人材を積極投入
製造ソリューション	320	420	9.5%	モノ・コトづくり両輪の支援で製造業の変革を支援
コミュニケーションIT	399	550	11.3%	電通グループ協業と基幹（ERP）事業の拡大

## 成長投資

項目	目標	方針
人材	2024年末の連結人員数 4,200名超	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2021年末比約1,000名の増員計画</li> <li>● 採用・教育改革、新しい働き方の構築に取り組む</li> </ul>
テクノロジー	3カ年累計投資額 170億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 前中計比約2倍の投資を計画</li> <li>● 先端テクノロジーの実装力の向上、開発技術の高度化、新製品・サービスの開発等</li> </ul>
M&A	3カ年累計投資額 100億円以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 成長基盤の構築に向けて積極的にM&amp;Aを推進</li> </ul>

## 株主還元

- 配当性向の目安「40%以上」を維持
- 成長のための内部留保を確保しつつ、配当の強化を中心に株主還元の充実を図る



# Humanology for the future

人とテクノロジーで、その先をつくる。